

参考資料2. 対象地域写真



第2期に教室建設を予定しているドアンケット村の子どもたちが現在通う、隣のナリ村の小学校（ハザン省シンマン郡）。1992年に住民が建てた教室の造りは脆弱で、危険な状態。教室建設後は、ナリ村の子どもたちも新しい校舎に通う



1～2年生が学ぶ、ナリ小学校の教室内。1年生担任のタイン先生は、この学校の課題について、「雨が強いと、教室内まで雨が入ってくる。トイレも、水もない。絵本がなく、児童の多くは家庭学習ができる環境にない」と語る



第2期に教室建設を予定しているゾ村(クアンビン省ミンホア郡)。360°を山に囲まれたゾ村に住むのは、ほぼ100%少数民族。他の村からのアクセスが困難であるため、教師は全員、平日はこの村で寝泊まりして教鞭をとる



ゾ村の民家。貧困とアクセスの困難さから、この村に住む子どもたちは十分な衣服や文具なども持っていない。子どもたちの教室建設を心待ちにする住民は、すでに建設予定地の整備を始めている



ゾ小学校の仮設校舎。教室は暗く、雨や風の影響も受けやすい。小学校5学年のうち、3学年がこの老朽化した校舎で学ぶ。児童数に対して教室が小さく、机や椅子などの教室備品も不足している



薄暗い教室で学ぶ、ゾ小学校の子どもたち。同小学校には73人の児童が通い、中学校も併設されているが、トイレは1箇所しかない。そのトイレは老朽化しており、水も出ない



第2期に教室建設を予定しているヌオックラン小学校(クアンガイ省バトゥ郡)。5学年が通うが、3教室しかないため、午前・午後の入れ替え制で児童は半日のみ授業を受けている。教室完成後は、隣のマンム村の5年生も、この小学校に通う



ヌオックラン小学校のトイレ。1998年に建てられ、すでに老朽化しており、水も出ない。衛生環境の悪さは、感染症が蔓延する原因となる